

成果指標				
成果指標	設定しない。			
指標設定の考え方	調査研究を行う事業であり、指標は設定しない。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	議会広報調査特別委員会では行政視察を行い、次回からの議会だよりによるその結果を反映させるよう検討を行っている。議会改革特別委員会では、7回の委員会を開催し、傍聴者への資料提供について検討し、その結果、議案書等の閲覧、提供できる資料を増やすことを決定し、平成26年3月定例会から実施した。今後、傍聴者の増につなげたいと考えている。また、常任・特別委員会の傍聴、協議会の傍聴についても検討し、原則公開していくことを決定し、関係例規の整備を行った。庁舎等建設特別委員会では、5回の委員会を開催し、本庁舎改築工事業務について検討を行った。今後は、図書館・文化ホール建設について検討していく予定である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	議会運営事業で述べたように議会改革特別委員会の役割は、果たしていると思う。今後は、特別委員会で協議される政務活動費の用途や行政視察での成果の活用方法などを、いかに実践していくか、議員の自覚と裁量が問われることになる。庁舎等建設特別委員会では、図書館・文化ホール設計業務に反映させるためのワークショップに積極的に参加し、愛着のもてる施設となるよう市民とともに提案していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題